

お名前

<学校経営方針の重点> (学校関係者評価)

1 学力の向上 2 規範意識と社会性の向上 3 豊かな心と健康な体の育成 4 保護者・地域・七小との連携

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者評価記入欄(コミュニティ・スクール委員記入欄)		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
学力の向上	基礎・基本を確実に身につけさせる指導の充実	主体的・対話的な深い学びを通して事業改善を進め、各教科等における資質・能力を着実に身に付けさせる。	基礎・基本の定着を徹底し、*1課題解決力の向上を目指す。そのため授業改善と家庭学習の充実の双方に取り組む。支援が必要な生徒については担任・コーディネーター・支援専門員・スクールカウンセラーが中心となり組織的に支援する。	A	各授業においてめあてを示し、課題を明確にして取り組ませた。特に第3学年は学習に取り組む姿勢の改善が見られた。	忘れ物が増える等、学級による課題も見られるが、新年度に向けて授業毎に学びの意義の確認や学習習慣の定着を図る指導を継続する。成果を上げた第3学年の学習への取組について各学年と共有していく。	A	コロナ禍以前の通常授業・通常行事が行えたことは良かったと思う。／忘れ物をした生徒には、口頭指導でもよいのではないかと。メモを取らせたらよいと思います。／支援専門員・スクールカウンセラー等充実している。／少人数の特徴が良い方につながっている。結果がついてくることが望ましい。先生方の努力のたまもの。／今年度1年生は4名ですが、少人数ならではの工夫された授業を受けられている。3年生の授業を受ける姿勢が特に良い。／基礎・基本の定着をお願いしたい。繰り返し反復練習・学習による体得・習得のような形態はあまり用いないのでしょうか？ 主体的な生徒の動きはとても感じる。／授業参観では落ち着いた雰囲気の中で学習している。少ない人数でも学力差はある。丁寧な指導をお願いしたい。／	メモは、授業中や帰りの学級活動の中で取らせていますが、忘れることもあり継続して指導しています。数学は毎時間の初めにドリル学習をしており、各教科で工夫を継続していきます。
			学習・図書館支援員による支援や学習教室(ステップアップ)の活用により学習意欲の向上や読書習慣の定着、図書館利用の向上を図る。また文化的行事を通して課題解決力・実践力を育成する。	A	第3学年は2学期の期末テスト後も放課後学習教室を開催した。少人数のため支援員と1対1で学んだ。	他学年についても定期テスト以外にも学習教室を実施し、3年生同様の効果を得ているので継続していきたい。	A	少人数のメリットを生かし、継続して学習指導を実施し、レベルアップを。／中央図書館主催の「本好きたちの集い～教えて！きみの一冊～」ぜひ参加者5名の本の紹介を知りたい。「若竹」でも場を設けてもよいし、小曾木センターだよりのおすすめの図書に記載してもらってもよいかも。／定期テスト前の放課後学習に参加する生徒は多いと思いますが、昨年より夏休み学習に参加する生徒が少なかったような気がします。猛暑だったからか。／定期的・継続的に放課後教室が開催されているので、基礎学力の定着につながる。／放課後学習教室は少人数のため、家庭教師に教えてもらっているように学習していることが見受けられる。	「若竹」第10号で紹介の予定です。今後も図書担当者と連携して学校だよりの充実を図る考えです。
			タブレット、電子黒板、スタディサブリ等の活用で*2個別最適な学習、協働的な学習の充実を図る。	A	来年度も同アプリを継続して利用し、家庭でのタブレット使用率を高めた。	スタディサブリの活用をより進めてほしい。／電子機器の活用で家庭での時間が増えており、効果が出ている。／少人数なのでお互い教え合い、聞き合いながら進めている。／タブレットの活用、スタディサブリの活用で今までか家庭での勉強方法がわからなかった生徒にも役立つ。／学校での先生の活用状況、子供たちの活用状況で先進的と感じられる場面に出会えなかった。／(このような)ICT活用は学力の定着につながる。／スタディサブリで生徒が積極的に家庭学習を行っている。違和感なく活用している。	A	学校での活用は理科・社会の宿題で活用、理科の授業で活用しています。	

*1 課題解決力=課題を設定し、解決する力/人間関係形成力=協働したり、社会参画したりしてよりよい人間関係をつくる力/実践力=体験・学びを社会に生かし、最後までやり抜く力
 *2 個別最適な学習=個に応じた指導のことで、指導の個別化(支援が必要な子供により重点的な指導を行うこと)と学習の個性化(子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供すること)の2つのこと。/協働的な学習=探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう必要な資質・能力を育成すること。

規範意識と社会性の向上	規範意識と社会性をはぐくむ指導の充実	基本的な生活習慣の確立を目指し、安全安心な学校生活を送りながら望ましい勤労観・職業観の育成を図る。 ※ 実践力 …最後までやり抜く力、社会に参画する力、仲間と協働する力等	薬物乱用防止教室、SNSの使い方、自転車安全教室、避難訓練等の安全指導により危機回避能力、 人間関係形成力 の育成を図る。	A	今年度は1月にスケアー・ドストレートも実施し、効果的であった。	1月に初めて不審者対応訓練を実施し、生徒の危機管理能力の向上に努めた。2～3年に1回、継続的に実施したい。	A	今後も地域の避難訓練に参加してほしい。野生動物（熊等）の対策も地域とともに考えたい。／継続して安全指導での危機管理能力の向上に努めたい。／スケアー・ドストレートの実施は、5・6年生にも参加を促してもよい（小中連携で開催）。／他校との合同での交通安全教室は良い。七小と合同も行ってほしい。不審者情報の多い中、不審者対応訓練は継続して頂きたい。／SNSの使い方は保護者も交えた取組を。／思春期を迎えている年齢でありながら度の生徒も気持ちの良い挨拶をしている。また、地域の行事に対しても参加するだけでなく大人に混ざって活動しており人間関係形成力がうまく育成されている。	交通安全教室は市主催行事のため確認が必要で、事故の再現場面への配慮も必要です。
			総合的な学習の時間の調べ学習では考えを深めたり広げたりして、 課題解決力 を身に付けさせる。	A	表現力も含めた課題解決力の向上につながっている。	今後、考えを深めたり広げたりするために地域のゲストの先生を招聘したい。	A	各地域の伝統行事（お祭り等）にも参加を考えているようなので実現してほしい。／今後も自己表現力を含めた課題解決力の向上を図って頂きたい。／3月の学習発表会が楽しみです。／ゲストティーチャーの方に地域ならではのお話を聞けることは生徒にとっても今後役立つ。／ゲストの先生による授業を探究的な学習とリンクさせて継続をお願いしたい。／地域に生徒が融け込むよう指導が良くなされていることにより、地域樹民も積極的に持っている知識を伝えたいと思っている方が多い。	フセギの草鞋づくりの授業を今年度から行います。
			総合的な学習の時間の職場体験、職業調べ等の進路学習では生き方について考えたりキャリアパスポートを活用させて振り返ったりすることで 実践力 を身に付けさせる。	A	他者と協働して学びを生かす力を伸ばすために体験的な学びを今後も継続したい。	今後は調べ学習をさらに深めるために思考ツールを活用したり、地域資源を再発見したりして活用する提案力を身に付けていく必要がある。	A	職場体験学習の継続・拡大をしてほしい。／体験的な学びで提案力、実践力を身に付けていくことが肝要。／ 学んだこと、感じたことを還元してほしいと思う。 Win-Winの関係でありたい。／今年は職場体験ができて本当によかった。生き生きと楽しそうに働いている様子がうかがえた。4名の1年生がスキー教室に参加できてよかった。交通手段と場所の検討、ありがとうございます。／人数が少ない中、他者との協働、多様性伸ばすには活動の範囲を地域に伸ばすことも一つの方法。／継続をお願いしたい。	今後、職場体験は繁昌農園、儘田屋旅館も検討したいと思います。地域の職場との連携が大切と考えます。
豊かな心と健康な体の育成	生徒一人一人が主体的に参加できるような指導の充実	道徳授業等の工夫・充実また豊かな心と健康な身体をはぐくむ教育活動を推進する。	各学年・生徒指導部・支援委員会・運営委員会等でスクリーニングシート等を活用して生徒情報を共有し、役割分担を明確にしてチーム学校で支援する。いじめアンケートを活用し、いじめ対策委員会を中心にいじめの早期発見・早期解決に努める。	B	今年度、いじめは3件あり、解決している。引き続き見守りを続ける。不登校は0であり、今のところそのような兆候は見られない。	各学年、分掌、委員会等での生徒についての情報交換が重なることもあるが、漏れないきめ細かな指導が必要であると考え。当面、この形で進めるが、会議を隔週で行うことも検討したい。	A	いじめ対策・不登校対策が素早く行われているので、引き続きよろしくお願ひします。／いじめの早期発見は、大変重要。どのような内容のいじめか、詳細な解決方法と経過をできれば知りたいです。／七小との挨拶運動をいつやっているのか、どこでやっているのか、を教えてください。／どの生徒もあいさつししっかりしてくれています。／不登校の生徒がいないのは、落ち着いた雰囲気の中で学校生活ができてからだと思う。先生方のご指導に感謝です。／人間関係が行き詰まると人数が少ないと、輪が乱れてしまうことがあるが、それらのことが感じられないくらいそれぞれの活動を行う姿がすばらしい。／いじめはどの学校にも起こりうる、引き続き校内での情報共有を密にお願いしたい。／スクリーニングシートを全生徒に実施し、問題が発生しそうな生徒の早期発見と対処を教職員で定期的に行っており、極めて有効かと思う。 	いじめの解決方法・経緯は学運協でご説明いたします。七小との挨拶運動は昨年6月28日に実施しました。可能な限り学校だけでなく事前にお知らせしたいと考えます。
			道徳教育・SOS教育・がん教育等を通して命の大切さに気付けさせ、自尊感情を育み、 人間関係形成力 を身に付けさせる。	B	体験学習を通して身に付けた力は定着の傾向がみられる。	留学生が先生等の道徳の授業・DV講座も効果的である。	A	授業・行事を見て、六中の生徒は自分ができることをしっかりやっていると思う。／今後も体験学習を通して、人間関係形成力を身に付けたい。／ 図書館の利用、どんな本が読まれているのか、ぜひ「若竹」で教えてください。 6年生の学びを応援したい。／音楽の授業で琴の体験ができるのは、素敵だと思います。／避難所開設訓練は学校として命の大切さを伝えるすばらしい機会。生徒も主体的に活動しておりすばらしい。／朝会内等において問題のある生徒を見かけること、また聞くこともなく道徳教育がうまくなされていると思う。	図書室担当者と一緒に連携して学校だけでなく「若竹」で紹介したいと思ひます。

		生徒会活動・学級活動・行事実行委員会・部活動を通して生徒が自ら主体的に活動して心を豊かにし、体を鍛えられるよう支援して <u>実践力</u> を身に付けさせる。	A	生徒会活動は、ネパール中学生との交流を2学期から開始した。	他校とのオンライン交流会、今年度から再開した七小との挨拶運動を地道に継続することが大切と考える。	A	体育祭・音楽会での生徒一人一人の役割・行動がすごく良かった。／交流によるコミュニケーションは大変良い。／ネパールオンライン交流会を継続して進めてほしい。／六中の周辺はいつもきれいです。生徒会の皆さん、用務員さん、先生方のおかげだと感謝しています。／少ない人数の中、どう多様性を育むかとすると、オンライン等のICTを活用し、国内外とつながり、外国語を生かすということは素晴らしいです。対面での小中連携も「保」を交え、今後も継続をお願いしたい。／9月から開始したネパール中学生とのオンライン交流会で第1回目はうまく交流ができていなかったのにも拘わらず、生徒の方から第2回目の交流会を催促するよう要望があった程主体的であった。 	今後、ネパール中学生と言葉を超えて合同で演奏や合唱する等の活動が考えられる。
保護者・地域・七小との連携	信頼関係の構築と連携	生徒は地域行事・七小との連合同行事に参加して地域社会の一員としての自覚を深めるとともに、学校は地域との連携及び小中一貫教育を推進する。	A	左記の教育活動に生徒が主体的に参加できている。教員自身も積極的に参加している。	地域行事と学校の教育活動の関連を図り学校が地域と連携することで、生徒は地域資源を再発見し、地域との関わりに意義を見出していくようになるとういと考え、工夫を重ねる。	A	避難所開設訓練では、生徒さんの行動・活躍が素晴らしく頼もしかった。／教育活動で生徒が自主的に参加することは、地域に影響をもたらしてよい。／スポレクフェスタに中学生主導の参加があってもよい(企画から参加)。／8月の避難訓練での生徒のテキパキした行動は素晴らしかった。今年度は六中のお蔭でホテルもたくさん見ることができました。猛暑の中、七小のピオトープづくりのお手伝いに参加した生徒がいて嬉しかった。／学校は地域との取組にとっても努力されている。／中学生主体の防災訓練、とても良い。次年度もさらに工夫し、継続をお願いしたい。／避難所開設訓練・青少年対活動等において中学生がリーダーシップを発揮していることにより地域は逆に安心感を頂いている。何より生徒が楽しそうに活躍している姿が見られる 	スポレクフェスタに企画から参加のボランティア希望生徒を募るチラシの配布があるとよいです。
		コミュニティ・スクール学校運営協議会を通して学校の課題を地域と共有し、解決に向け協働する(例総合的な学習の時間「青梅学」ゲストの先生の招聘)。	B	ゴルフ部創設を始め、5回にわたる総合授業で多大な地域支援を得られた。	今後も学校運営協議会で出される活発な意見やアイデアを生かしてさらに部活動や青梅学(ふるさと学習)を充実させたい。	A	6月のコミュニティ・スクール講演会で話されていた小中一貫校への転換の検討を始めるべき時期かと思いました。／ゴルフ部の応援・協力をしたい。／自治会の地域の企業との協力によりゴルフ部創設に向けた活動は大変評価できる。／チャレンジする精神は、大変重要で必要なこと。／小曾木文化祭に美術部の作品展示を望みます。黒沢お雛子保存会で2年生の西紅尚さんも練習に励み、立派です。／部活についてはもう少し話し合った方がよい。ゴルフ部もよいですが、体育館を活用してのクラブとか、顧問の先生(外部)を探るのが大変ですが…。／今年度は(ゴルフ部)導入に向け、とても努力されていた。／コミュニティ・スクールの4活動は、小中で同じメンバーが活動していることもあり、今後の推進方法については議論を進める必要性もあるかと思う。／ネパールオンライン交流会やゴルフ部創設活動等、教職員の方が積極的に進めたため地域も多に協力していく体制ができた。	時期的に美術部の作品展示が可能かどうか検討します。時期的に作品が未完成の場合は展示できません。
		七小と連携し、小中合同音楽会・避難所開設訓練・小中合同教員研修会の充実を図る。そのため年間行事の策定において互いに協力する。また、おそき保育園とも運動会実施等において連携する。	A	七小の協力に支えられた。PTA支援(スタディサプリ・弁当・吹奏楽部・懸垂幕・ミスト等)が十分に得られた。	第六支会・同窓会から物心両面で支援してもらい、生徒・保護者への大きな励みとなった。引き続き支援をお願いする。そのため随時明確な経営方針を示していく必要がある。	A	小中合同の行事が行われ、それぞれがすばらしくこれからも多くの合同行事が行われるのを期待しますし、協力したいと思います。／七小と六中両校の協働は頼もしい。／避難所開設訓練の活躍はすばらしい。できたらその場でAEDの実演があってもよい。／素晴らしい成長を見せてもらえることは、とても幸せなことです。／おそき保育園とも連携できたのは良かった。／連携は徐々に進んでいるが、青梅市としてどう地域の学校として市内で最も先駆けた取組をしていくのか見えてこない。／七小も六中の協力に支えられ、様々な連携を行うことができた。今後も情報共有を丁寧に図り、小規模校ならではの良さ、特色を内外にアピールしていくことが、ますます求められてくると感じる。／小中一貫校並みに連携が取れつつあることが見受けられる。今後もさらに強化していただきたい。 	AEDの実演が可能か、センターと協議します。

「評価」の仕方

4段階評価

A：目標達成、B：ある程度達成、C：もう少し、D：できなかった

○4段階評価 A：目標達成、B：ある程度達成、C：もう少し、D：できなかったを基準として、校内で教職員一人一人が学校を評価したものを集計した。

上記の個人評価中のA～Dの割合をもとに次のように学校としての評価をまとめた。

A … 全体に対するA+Bの割合が90%以上かつ全体に対するAの割合が50%以上

B … 全体に対するA+Bの割合が70%以上

C … 全体に対するA+Bの割合が70%未満(全体に対するC+Dの割合が30%超)

D … 全体に対するA+Bの割合が50%未満かつ全体に対するDの割合が20%以上(全体に対するC+Dの割合が50%超かつ全体に対するDの割合が20%以上)

(ただし、全体に対するA+Bの割合が70%以上であっても、全体に対するDの割合が20%以上の時は、一段階評価を下げてCとする)